

プランクトン速報 R2-15号

(4月13日～4月15日観測)
令和2年4月15日発行

<http://www.pref.mie.lg.jp/suigi/hp/16052017292.htm>

三重県水産研究所
養殖・環境研究課
TEL 0599-53-0016
FAX 0599-53-2225

【プランクトン出現状況】

◇ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ:

・確認されていません。

◇珪藻類(英虞湾):

・布施田定点、片田深谷定点、ミキモト前、赤崎定点で少ないです。

・挿核や春抑制を開始されている養殖業者の方もおられると思いますが、冬季の高水温の影響で抑制が過剰となっていないか注意し、外套膜の萎縮などの症状がありましたら、挿核しないようにしてください。

・アコヤガイの異常がみられましたら、水産研究所までご連絡ください。

◎おしらせ

・英虞湾湾央(タコノボリ)の塩分濃度観測機は、メンテナンスのため、4月15日15:00から陸揚げ中です。観測再開まで、しばらくお待ちください。

【英虞湾の環境】

◇水温: ※平年値 $\pm 0.5^{\circ}\text{C}$: 平年並み, 平年値 $\pm 1.0^{\circ}\text{C}$: やや高め・低め, 平年値 $\pm 2.0^{\circ}\text{C}$: 高め・低め

水深	範囲
2 m	14.9 ~ 15.8 $^{\circ}\text{C}$
5 m	14.7 ~ 15.7 $^{\circ}\text{C}$

・自動観測ブイ(4月15日): ※平年値(過去20年(4月中旬)平均)と比較。

水深\観測点	湾中央(タコノボリ)	湾奥(立神)
2 m(平年差)	やや低め (-1.0°C)	低め (-1.1°C)
5 m(平年差)	やや低め (-0.7°C)	平年並み (-0.4°C)

・浜島定地水温(4月15日): ※平年値と比較。
15.0 $^{\circ}\text{C}$ (-0.4°C), 平年並み

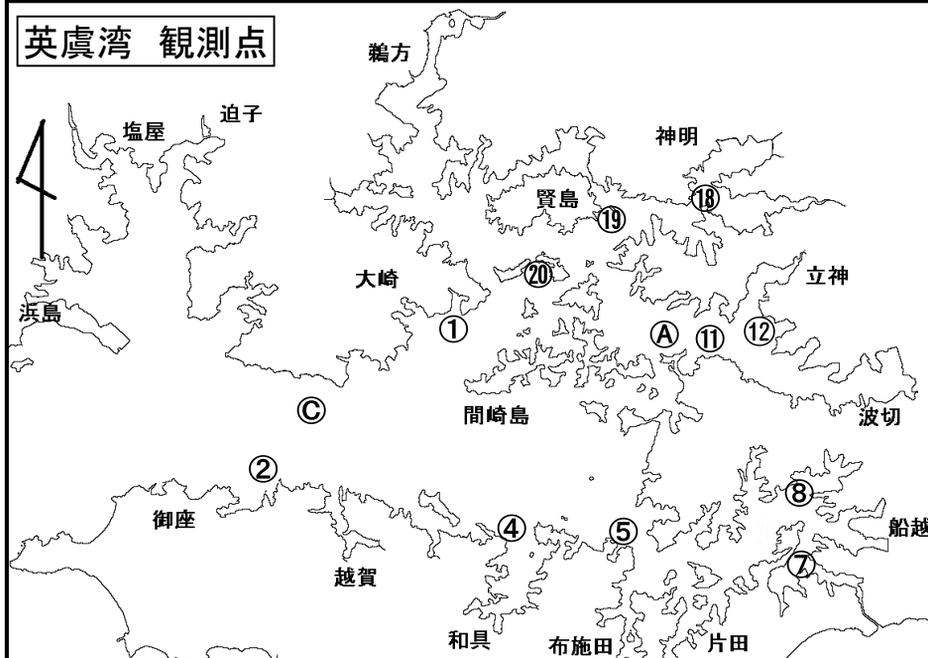
◇溶存酸素量と塩分(2~5m層):

項目	範囲
溶存酸素量	7.0~8.4mg/L
塩分	28.0~34.8

【五ヶ所湾・神前浦の水温】※平年値(五ヶ所湾は過去7年(4月中旬))、神前浦は過去2年間の平均値)と比較。

水深\観測点	五ヶ所湾(床なぎ)	神前浦
2 m(平年差)	平年並み (-0.5°C)	やや高め ($+1.4^{\circ}\text{C}$)
5 m(平年差)	平年並み (-0.3°C)	やや高め ($+1.7^{\circ}\text{C}$)

英虞湾 観測点



①立神(水研) または 立神ブイ(三真協)

③タコノボリ(三真協)

①ミキモト前

②御座定点

④和具定点

⑤布施田定点

⑦片田深谷(大野浦)

⑧半女

⑩波切定点

⑫赤崎定点

⑬伝六前

⑭弁天

⑮横山(多徳前)

漁場名 観測日・機関名	水深 (m)	水温 (℃)	溶存 酸素	塩分	プランクトン(細胞/ml)				備考
					ヘテロプサ	珪藻類	(1)	(2)	
英虞湾									
1 ミキモト前 4/14 10:30 ミキモト	0	15.4	8.1	33.7	0	180			
	2	15.4	8.1	33.7	0	454			
	5	15.4	8.1	33.7	0	1028			
	10	15.5	8.1	33.8	0	208			
	B-1	15.7	7.9	33.9	0	159			
12 赤崎定点 4/15 9:20 ミキモト	0	14.5	8.2	32.1	0	97			
	2	14.9	8.1	33.1	0	109			
	5	14.7	7.9	33.0	0	126			
	B-1	14.9	7.9	33.2	0	206			
11 波切定点 4/13 11:45 波切	1	15.6		32.1	0	216			
	2	15.5		30.1	0	138			
	3	15.4		32.1	0	204			
	5	15.4		32.1	0	240			
2 御座定点 4/13 13:00 御座	0	15.6	8.1		0	80			
	2	15.7	8.3		0	260			
	5	15.7	8.1		0	440			
20 横山(多徳前) 4/13 12:45 神明	0.5	15.7	8.0	32.8	0	760			
	2	15.7	7.8	33.0	0	30			
	5	15.7	7.6	33.2	0	230			
19 弁天 4/13 13:00 神明	0.5	15.7	7.2	32.4	0	320			
	2	15.6	7.2	33.0	0	500			
	5	15.7	7.2	33.3	0	80			
18 伝六前 4/13 13:15 神明	0.5	15.8	6.5	32.7	0	440			
	2	15.6	6.5	32.9	0	590			
	5	15.6	6.6	33.0	0	240			
5 布施田定点 4/14 10:10 布施田	0	15.2	8.5	28.0	0	0			
	2	15.1	8.4	28.0	0	0			
	5	15.0	8.2	30.0	0	46			
7 片田深谷(大野浦) 4/14 12:45 片田	1	15.8	8.1	34.3	0	66			
	2	15.8	8.0	34.7	0	19			
	5	15.5	8.1	34.8	0	8			
4 和具定点 4/14 7:30 和具	0	14.1	7.1		0	0			
	2	15.0	7.0		0	0			
	5	14.8	7.0		0	0			
	8	14.8	7.2		0	400			
A 立神ブイ 4/15 9:00 三真協	0.5	14.8							
	2	15.0							
	5	15.0							
	8	15.7							
C タコノポリブイ 4/15 9:00 三真協	0.5	15.2		33.6					
	2	15.0							
	5	15.1							
	8	15.2							
	26	15.7		34.0					
五ヶ所湾									
床なぎ 4/15 9:00 三真協	0.5	15.7							
	2	16.0							
	5	16.1							
	8	16.0							
神前浦									
小納戸 4/15 9:00 三真協	0.5	17.9							
	2	18.1							
	5	18.2							
	8	18.2							

*「ヘテロプサ」はヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ(*Heterocapsa circularisquama*)

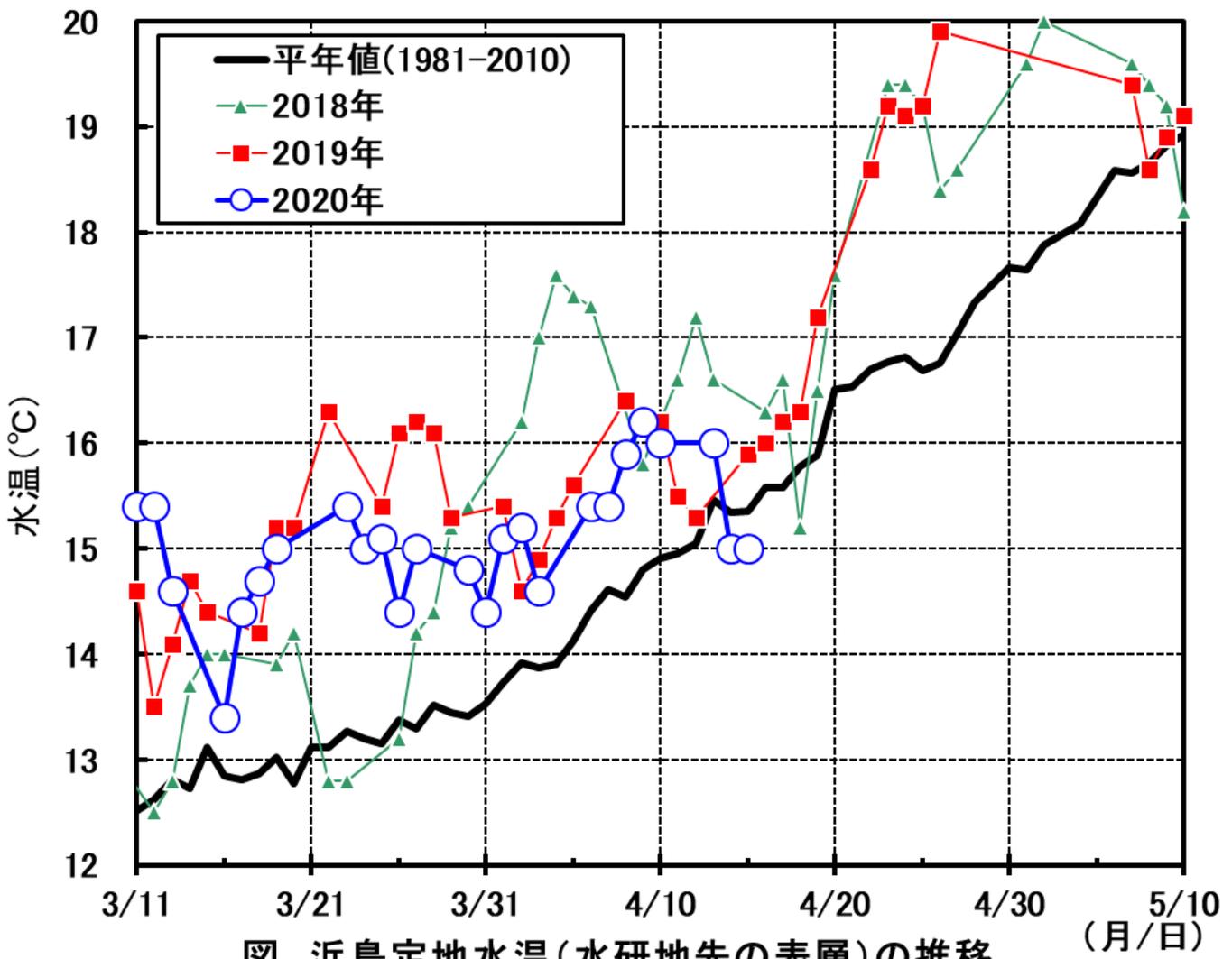


図 浜島定地水温(水研地先の表層)の推移

【ポリドラ浮遊幼生調査結果】（4月15日）

●概況

今年度のポリドラ調査を開始しました。

立神で200～500 μ mのポリドラが1個体確認されました。

昨年も4月15日に立神で1個体確認されています。昨年は5月から6月に増加しました。

次の調査は4月20日（月）の予定です。

観測点 幼生	㊸立神(水研)	㊸半女
ふ化後7日～21日 (大きさ200～500 μ m)	1 (1)	0 (-)
ふ化後21日～40日 (大きさ500 μ m以上)	0 (-)	0 (-)

* () 内の数字は前年同期の値

●ポリドラ（参考）

- ・貝殻穿孔性の多毛類でアコヤガイに着生し、病害を引き起こします。
- ・ふ化後30日～40日でアコヤガイ等に着生します。
- ・ふ化のピークの30日～40日後に濃塩水処理などを行うことが、駆除には効果的とされています。
(出典：水本三郎「アコヤガイの病虫害」)

●調査方法

- ・北原式定量プランクトンネットで水深5mから鉛直引き1回（ろ水量約200L）